

# 言葉を探す事



大阪府 関西大学初等部 6年

並川 千鶴

第5回日本語大賞 小学生の部 優秀賞 受賞作品

私が伝えたい言葉は、「お疲れの出ませんように」です。世の中には「ありがたいございます」や「おはようございます」等、みんなの気持ちを明るくするいい言葉がたくさんあります。なぜ、私がこの言葉を選んだかというと、自分があの人に気持ちを伝えたいのに、その気持ちをうまく言葉に変えられず、結局は下を向いてもごもごと口ごもってしまっただけからです。

私達は、よく先生方や近所の人達から「がんばってね」と励ましの言葉をかけてもらいます。勉強でしんどい時、運動会や文化祭などの行事の準備で忙しい時にその励ましの言葉をもらおうと私がしんどいのを分かってくれているんだなと元気が出ます。ですが大人がしんどそうにしている時や疲れていそうな時に、私達子どもから、その人を応援する言葉はなかなかうまく見つからない事に、その時気づきました。日々の疲れでやつれている人や寝不足でクマができている人は、自分の周りにもたくさんいます。「頑張ってください」は、目上の人から目下の者にかかる言葉なので私達子どもが大人に使うのはマナー違反だと聞きました。

では、どんな言葉がいいのだろうかと考えてみました。「大丈夫ですか？」と聞くと、大人は子どもに心配をかけたくないと考えて、しんどくても「大丈夫」と答えるでしょう。しんどい人に元気な答えを要求してしまう「大丈夫ですか？」は使いたくないと思います。「無理しないように気をつけてください」は、なんだかえらそうに聞こえるかなと思いました。自分で考えてみても分からなかったので、お茶の先生に相談すると、「お疲れの出ませんように」という言葉を使うといいと教えてもらいました。確かにこの言葉は、無理しないでください、私は心配していますという伝えたい気持ちを全て含んでいます。私達子どもは自分が安心したいから、声をかけるのではないのだから、「大丈夫だよ」と言わなくてすむのがすごいと思います。相手を思う気持ちを込めて、伝えられ、相手に負担をかけない言葉だと思います。

今は、あまりそんな事を気にせず、誰でも「頑張ってください」を使っている事が多いと思います。言葉には人を傷つけるものもあれば、人を勇気づける言葉もあり、言葉の力は本当に大きいと思います。

「激おこプリン丸」や「ムカ着火ファイヤー」など、言葉と気持ちが直結しているものが今は多く使われています。けれど、一つの言葉にたくさんのお気持ちが込められている言葉を探して使うように努力したいです。